

カルガモ倶楽部

5 号

事務局 〒 638-0041 奈良県吉野郡下市町下市 882-6 Tel(Fax) 0747-68-9122 karugamo@oyasato.net

つれづれなるまま

ありのまま

川上美也子

「私、この不自由な右手が好きなんです！」

咄嗟に放った自分の言葉に、ほんとうの気持ちを見た。私は、私の右手のありのままが好き。

神様

お迎えの時は

ハンディーキャブにして下さい

また障がい者に

生まれたいから (2・26)

先日、こんな五行歌を詠んだ。



生きてることは、すごいことなんです。
生きることは、素晴らしいことなんです。
お互いに、明るく生きましょうね！

そう、私は障がい者の私が好きだ。来世も、そのまた来世も、ずっと障がいを持って生まれた。そのためには車イスを置いていけない。車イスがあれば、あちらの世界での待機中も走り回れるってものだ。

六十歳になったら、更に、しかもガクーンと体力が落ちた。そして気力もなくなつた。

この冬の寒さ、雨降りには、身体が固まり、気力が萎えてしまい、前日の天気予報の時点で、さつさと外出を断念する。

こうして所属教会の大祭も、十年に一度の行事も、初めてサボってしまった、かなり落ち込んだ。

それでも、今は立ち直つた。

五十、六十とガクン、ガクーンと落ちる。人は皆、そうかもしれない。敢て言わせていただくなら、障がい者のそれ(ガクーン)は想像を遙かに超える。そこを通過して、落ち込みながら、今は思う。

「五十、六十の節目でガクーンと落ちるのは、ご守護だ。おかげで、スタート地点で(今までのような山は越えられないと)認識できる」と。

還暦を迎えて半年経つた今、オンとオフが一層はつきりしてきたように思う。

私には何も出来ない。私に出来ることは、「ヘラヘラと笑っていること」だ。アハハ…、これならずうつと出来そうだ。六十代の目標が出来た。

そうだ、遺影用に大笑いしている写真を撮ってもらおう。タイトルは、「イエーイ！」。

冬の式だと、寒くて皆さん凍えるカモ。それでは、ゆっくり五行歌も考えてみましょうか！

「生きる喜び展」ご案内

日時 平成 24 年 6 月 25 日 (月) 午後 1 時~ 5 時
 26 日 (火) 午後 1 時~ 5 時 27 日 (水) 午前 9 時~正午

会場 ギャラリーおやさと (天理本通り)

内容 「生きる喜び展」
 一川上美也子の五行歌と障がいのある人の写真一

共催 カルガモ倶楽部・NPO 法人日本障がい者写真協会

五行歌集「ありがとう」好評！ 発売中！
「私、今、生きてるもん」
倶楽部事務局へ申し込めば送料込みで、一、二〇〇円

「人生」がこめられた歌

「五行歌集ありがとう」によせて

〒16 編成局衛星放送センター

エグゼクティブ・プロジェクト

湯澤克彦

最初に川上美也子さんにお

目にかかったのは、二十年前、

一九九二年十二月に放送した

「NHKスペシャル 障害者の日

人生の主人公になりたい」と

いう長時間特集の中の「ありの

ままに生きたい」カルガモ母

さんの出発」というドキュメ

ンタリー番組の撮影でした。(中

略) 小さな子供が飛び回り、元

気なはしやぎ声が絶えないお

宅でした。川上家が他の家庭と

ちよつと違つたのは、何と五人

の子供がいる七人の大家族だっ

たこと。そして、美也子さんが

脳性まひのために体が不自由

だったことでした。車椅子でど

こへでも子連れで出かけていく

姿から、当時テレビなどで人気

だった鳥の親子をもじり、「カ

ルガモ母さん」と周囲の方々か

ら呼ばれていました。(中略)

あれから二十年。歌集を拝読

し、川上さんの生活の一瞬一瞬

毎日の暮らしの中のドラマが再

び目に浮かぶようでした。そし

て川上さんの人生への思い切り、

自分の身と心を外向きの装いを

せずに見せるという「覚悟」が

伝わってきた思いでした。自分

の心の中、そして生活をさらす

ことは勇気がいることですよ

ね。でも、そのおかげで、美也子

さんの六十年の人生が詰まってい

る素敵な歌ができあがりまし

た。素敵なというの、私達の

人生をも応援してくれるような

という意味です。(中略)

美也子さんの人生は、常に「覚

悟」の人生ではなかったのでは

しよ。娘時代までは、比較的軽

かった障ガイが、出産、育児

家事をする中で、だんだん重く

なりました。五人目の成人さん

を身ごもったとき、周囲の方の

中には大変反対した方もいたそ

うですね。それでも「赤ちゃん

と生死を共にする覚悟」で、出

産を決意しました。体のことだ

けを考えれば、違う選択があつ

たはず。でも美也子さんは、

あえて苦しさを増す選択をし、

それによって何十倍もの喜びを

得られる道を選びました。そう

して生んだ成人さんに「二十歳

おめでとう」とメールする歌は、

カルガモ母さんの精一杯生きた

誇りを感じさせてくれます。

あるいてきたあちこちに

わたしの

せいっぱいが

ころがつている

それだけでいい

五人のお子さんと夫に向き合つてきた人生。(中略)

きれいな事ではない、嫌なこと、

目を向けたくないこと、人生に

後ろ向きになりそうな思いの歌

もたくさんありました。「ひとこ

とも返せずに、押し殺した悔し

さ」という思いも一杯感じてき

たのです。

(後略)



カルガモ母さんの五行歌集
「ありがとう」川上美也子著
1200 円 (+税)
倶楽部へ申し込めば、
送料込みで、1200 円です。

24 年度 会費のお願い

今年も気持ちのいい季節となりました。おちばでは、教祖ご誕生祭がつとめられます。全国からの帰参者で賑わうことでしょう。

さて、6月25日から27日まで、おちばで「生きる喜び展」川上美也子の五行歌と障がいのある人の写真を開催します。是非帰参され、会場に足をお運び下さいませようご案内申し上げます。また、その時に今年度のカルガモ倶楽部年会費をお願い致します。おちばでは、おちばの帰参者で賑わうことでしょう。是非帰参され、会場に足をお運び下さいませようご案内申し上げます。また、その時に今年度のカルガモ倶楽部年会費をお願い致します。おちばでは、おちばの帰参者で賑わうことでしょう。

年会費
特別会員 六千円 毎月郵便局の口座から500円引き落とし。
一般会員 三千円
郵便振込みか、会場にて一括納入です。